



津田小だより

松江市立津田小学校
令和7年11月17日
校長 小林 敏朗

先日1年生教室に行くと、ある学級で算数の学習に取り組んでいました。子どもたちはプリントで練習問題をしていましたが、よく見ると子どもによって取り組んでいるプリントが違っていました。担任の先生に話を聞くと、その時間は3種類のプリントを準備し、子どもたちが自分で取り組むプリントを選び決めているとのことでした。この話を聞いたとき、まさしく「自己決定」の取り組みだと思いました。ある本の中で、日本人2万人アンケートを実施し「『所得』『学歴』『自己決定』『健康』『人間関係』の中で幸福を感じるのはいずれか？」という調査がありました。その結果、1番は「健康」、2番は「人間関係」で3番が「自己決定」になったそうです。つまり、「所得」や「学歴」よりも「自己決定度」が高いと幸福感は高くなるということでした。続けて「自己決定力」を育むためには「小さなことを自分で決める経験を積むこと」「子どもの意見（決定）に『どうして？』と尋ねること」が大事とありました。どのおもちゃで遊ぶのか、今日は何色の服を着るのか、今日の予定はどうするのかなど自分で決め、「どうして？」と尋ねることで自分の意見、考えがより深まり、自分で考え決める力が伸びるということでした。学校での生活や学習場面では自己決定をする場や瞬間が多くあります。その一つ一つの場面において、子どもたち一人一人を見つめ、自己決定を促しながら、今後も教育活動に取り組んでいきたいと思っています。



3種類の算数プリント

津田っ子ががんばりました！「うたごえ広場」

11月6日（木）には子どもたちがお互いの発表を見合う「うたごえ広場」、7日（金）には保護者や地域の皆様に向けて発表する「うたごえ広場」を行いました。7日にはお忙しい中ご来校いただきました皆様、子どもたちにあたたかい拍手を送っていただき、ありがとうございました。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

今年度の「うたごえ広場」本番やそれまでの練習を通して、子どもたちは次のようなことを考えています。ふりかえりを一部紹介します。

○私はカスタネットをしました。コンコンコンという音がしてたのでお母さんたちが楽しんでくれたので、とても楽しい「うたごえ広場」になりました。みんなが力を合わせたので、とても盛り上がったように感じました。

○鍵盤ハーモニカがうまく弾けました。(中略) お母さんとお父さんが見に来てくれてうれしかったです。おばあちゃんたちも来てくれてうれしかったです。緊張したけど、できてすごく気持ちがポカポカしました。できるってすごくいいことだなと思いました。

○私はリコーダーが苦手で、初めはなかなかうまくできなくて家で練習しました。家で練習しましたができないのであきらめようとしたら、お母さんが「練習したら、いつかきつとうまくなる。」と言ってくれたので、あきらめず毎日続けて、うまくできるようになりました。

○緊張したけれど何とか声を出すことができて一安心しました。みんなの力を合わせないと一人ではできない！みんなとやるとできるんだと初めて知りました。

○ゲットした力は、指揮を見て笑顔で歌うことです。もっと磨いていきたいです。

○今日も昨日も、ものすごく緊張したけど気持ちのこもった発表ができました。うたごえ広場で、緊張しても落ち着ける力をゲットしたので、4年生ではそれを生かそうと思います。

○うたごえ広場でゲットした力は、集中する力、楽しむ力、ハキハキと元気よく歌う力をゲットしたと思います。この力を4年生のうたごえ広場で生かそうと思います。

○発表を終えた今の気持ちは「去年は出られなくて、とても悔しかったけど、すべてをやり切った。」と、この心でいっぱいです。

○「言われなくても察して行動すること」が成長したことです（言われなくてもする）。発表を終えた今の気持ちは感謝の気持ちを伝えられた！と安心している気持ちです。

○合唱の踊りは最初少し恥ずかしかったけど、もっと自分を出さないと楽しめないなと思いました。その後は「恥ずかしい」よりも「楽しい」という気持ちになれたのは成長だなと思いました。

○最初の練習では歌の音程がどうかはわからなかったけど、だんだん慣れてきて周りも気にするようになって、みんなできれいに合わせることができるようになってよかったです。うたごえ広場は一人で練習して自分のパートだけ気にすればいいと思っていたけれど、仲間のことも考えながらやるとすごく楽しくて「なんでもっと早く気づかなかったんだろう」と思いました。

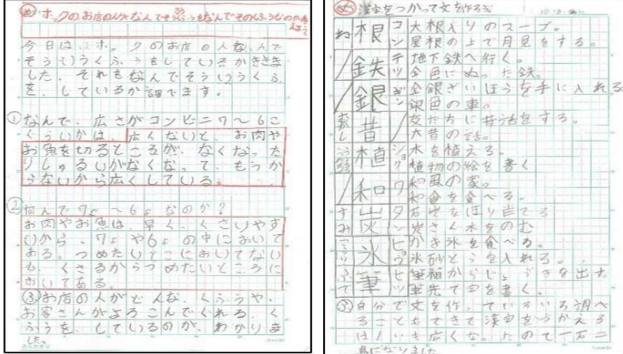
私も、学級担任から受け取った子どもたちのふりかえりを読みました。子どもたちはそれぞれに自分自身を見つめ、自分ができたこと、できるようになったこと、以前の自分と比べて成長したことなどを書いていました。今回のうたごえ広場を通して、各学年の音楽科としての力はもちろんのこと、音楽や群読などを通して聞き手に伝える力、表現力なども育っていることを感じました。また、私自身このうたごえ広場には2つの意味があると思っています。一つ目は、自分よりも年上の学年の発表を見ながら「すごいな」とか「自分も5年生や6年生になったらこんなことをしてみたいな」と「憧れをもつ場」ということです。未来の自分をイメージするということ。子どもたちにとって、この憧れをもつということは自分自身を成長させるためのとても大きなエネルギーになると考えています。二つ目は「成長を感じる場」ということです。たくさんの人たちに観ていただくと子どもたち自身のモチベーションはぐ～んと上がります。発表に向けて、それまでの自分から一段上へ高めていこうとがんばります。発表をやり終えた時に感じる達成感や観てくださった皆さんからの賞賛の拍手で自分への自信が生まれ、成長を感じることになります。これは本校の経営方針の一つである「自己肯定感」を上げることにもつながります。

最後になりましたが、7日（金）の早朝から片付けまで、運営にご協力いただきました PTA 役員の皆様、大変お世話になりました。おかげさまで、スムーズな運営をすることができました。ありがとうございました。

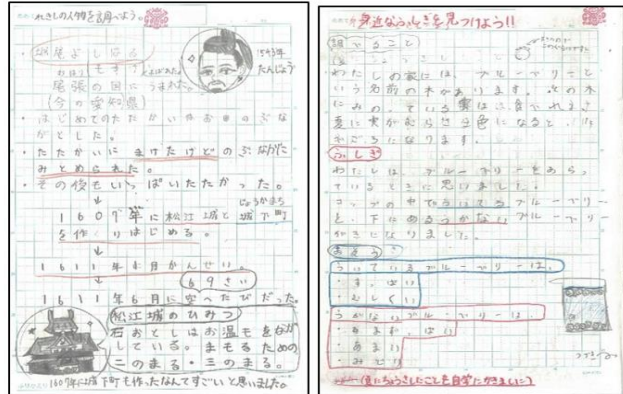
津田っ子グローイングタイムから…

本校では、9月から第2、第4金曜日を5時間授業とする取り組み「津田っ子グローイングタイム」を実施しています。これは、子どもたち一人一人に主体的に学習や生活を創造する力を養うことを目的としている取り組みです。保護者の皆様には、この取り組みにご理解、ご協力をいただきありがとうございます。少しずつですが、この取り組みも子どもたちに浸透してきている印象をもっています。今回の学校だよりでは子どもたちの取り組みの様子を一部紹介します。今後の参考にさせていただければ幸いです。

＜自分で考えた学習に取り組んでいる様子 ～3年生の学級通信より～＞



この3人の自学は、自分でこれができるようになりたい！これを知りたい！という思いをもって自学に取り組んだことがよく伝わりますね。



学習してもっと調べてみたいと思ったこと、日々生活をしている中で不思議に思っていることを調べた自学です。

＜自分が好きなこと、得意なことに取り組んでいる様子＞



後日、このイラストを描いた子と話をしました。すると「ぼくはお笑いが好き。それから絵を描くことが得意なので、グローイングタイムでやってみようと思った。」と言っていました。

＜6年生の日記から＞

10月26日 「グローイングタイムの時にしていること」

私はグローイングタイムの時に「うたごえ広場」の練習、漢字スキルやけ計ドをしたりしています。そして、いつも金曜日はサッカーなので、急いで帰って友達と話したいことがなかなか話せなかったけど、友達とゆっくりいろんなことを話せてめちゃくちゃ楽しいです。そして勉強は前までは難しい問題をしたり言葉をたくさん覚えることはあまりしてなかったけど、グローイングタイムができて勉強でも生活でもいろんなことに挑戦できるようになりました。

紹介したこと以外にも、ピアノの練習をがんばっていること、花言葉調べに取り組んでいること、買ってもらった小説を読んでいることなどがありました。また「おうちの人と一緒に料理をした。」という話も聞きました。これからも津田っ子グローイングタイムは続きます。子どもたちが（今回の学校だよりの最初の話題の）自己決定を繰り返しながら、主体的に学習や生活を創造する力を育ててほしいと思います。